



日本の美の原点が一堂に



国宝

「火焰型土器」(十日町市所蔵)

撮影/小川忠博



国宝

「縄文のビーナス」(長野県茅野市所蔵) 写真提供/茅野市尖石縄文考古館

新館オープン記念秋季特別展 縄文の遺産

雪降る縄文と 星降る縄文の競演

令和2年 9月26日(土) ~ 11月8日(日)

観覧料: 1,000円 (常設展と共通・団体20名以上900円)
中学生以下無料

開館時間: 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 9/28・10/5・12・19・26

十日町市博物館

〒948-0072 新潟県十日町市西本町1-448-9
TEL: 025-757-5531 / FAX: 025-757-6998
e-mail: museum.10@city.tokamachi.lg.jp
URL: <https://www.tokamachi-museum.jp/>

【お願い】

- ・入館にあたってはマスクを着用してください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、入館制限を行います。
- また、上記の内容が変更・中止になる場合があります。

共催: 信濃川火焰街道連携協議会・博物館友の会





①重文・釈迦堂遺跡深鉢形土器（釈迦堂遺跡博物館所蔵）②重文・鑄物師屋遺跡 人体文様付有孔鐔付土器（南アルプス市教育委員会所蔵）③重文・一の沢遺跡 人体文土器（山梨県立考古博物館所蔵）④十日町市野首遺跡 王冠型土器（当館所蔵）⑤三条市吉野屋遺跡 土偶（三条市所蔵）⑥見附市耳取遺跡 ヒスイ製大珠（見附市教育委員会所蔵）
③④⑤は小川 忠博氏による撮影、写真提供は資料所蔵者

テーマ

新潟県と長野・山梨県では、それぞれ縄文をテーマとしたストーリー「なんだ、コレは！ 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」と、「星降る中部高地の縄文世界 一千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅」が日本遺産の認定を受けています。縄文時代中期、3県が位置する中部地方では、新潟県の火焰型土器や長野・山梨県の水煙文土器など、過剰なまでに装飾が施された土器が作られていました。これら3県から出土している土器、土製品、石製品などの優品（国宝・重要文化財含む）を集め、中部地方に華開いた独自の縄文文化を紹介します。

主な展示品 上に写真を掲載した資料以外

I 雪降る縄文の世界 一信濃川流域の縄文文化ー

高平遺跡 火焰型・王冠型土器（村上市教育委員会 所蔵）
川久保遺跡 王冠型土器（新潟県教育委員会 所蔵）
秋葉遺跡 王冠型土器（新潟市教育委員会 所蔵）
長野遺跡 火焰型・王冠型土器（三条市 所蔵）
馬高遺跡 火焰型土器（長岡市教育委員会 所蔵）
野首遺跡 火焰型・王冠型土器（当館 所蔵）
正安寺遺跡 火焰型土器（魚沼市教育委員会 所蔵）
原遺跡 火焰型土器（南魚沼市教育委員会 所蔵）
諏訪前遺跡 火焰型土器（津南町教育委員会 所蔵）
塔ヶ崎遺跡 火焰型土器（上越市教育委員会 所蔵）
川内遺跡 王冠型土器（柏崎市立博物館 所蔵）
長者ヶ原遺跡 火焰型土器（糸魚川市教育委員会 所蔵）
長瀬新田遺跡 火焰型土器（長野県栄村教育委員会 所蔵）

II 星降る縄文の世界 ー中部高地の縄文文化ー

目切遺跡 壺を持つ妊婦土偶（市立岡谷美術考古館 所蔵）
竹宇1遺跡 顔面把手付土器（北杜市教育委員会 所蔵）
石之坪遺跡 土偶「ミス石之坪」（埴田市民俗資料館 所蔵）
重文・酒呑場遺跡 ヒスイ製大珠（山梨県立考古博物館 所蔵）
三光遺跡 ヒスイ製大珠（笛吹市教育委員会 所蔵）
長田口遺跡 黒曜石原石（南アルプス市教育委員会 所蔵）

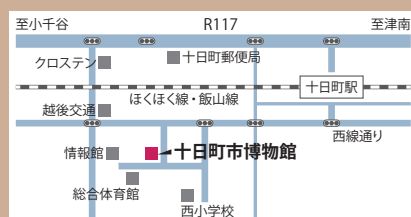
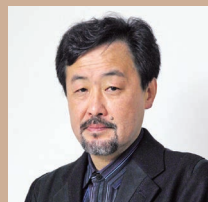
記念講演会

「日本美術史における縄文的なるもの」

講 師：山下 裕二 さん（明治学院大学文学部芸術学科 教授）
日 時：10月17日（土）13:30 ～ 15:00
会 場：十日町情報館 視聴覚ホール（博物館より徒歩3分）
定 員：50名（要事前申込み・定員になり次第締切・当日申込み不可）
受講料：無 料（特別展・常設展の見学は観覧料が必要）
申込み：電話・FAX・メールのいずれかで博物館へ

■ 講師プロフィール

1958年、広島県生まれ。美術史家。
東京大学大学院修了。室町時代の水墨画を中心に、縄文から現代までの日本美術史を論じるほか、展覧会プロデュースなど多方面に活躍。著書に『未来の国宝・MY国宝』（小学館）、『日本美術の底力「縄文×弥生」で解き明かす』（NHK出版）など多数。



■ アクセス

- ・ほくほく線、JR飯山線 十日町駅 から徒歩10分
- ・関越道 六日町IC、越後川口IC から車30分
- ・北陸道 上越IC、上信越道 豊田飯山ICから車80分

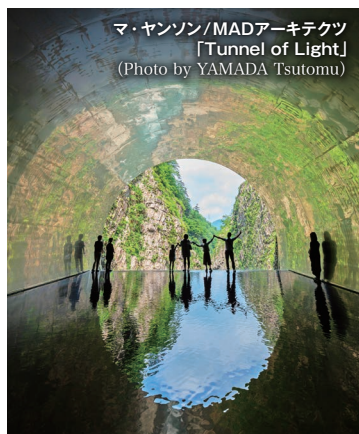


大地の芸術祭

えちごつまり
越後妻有
2020 秋

の里

10/10,11,17,18,24,25,31,11/1 (8days)



豊かな里山の「自然、集落、食」とアートの融合を体感

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ

日本有数の豪雪地・越後妻有（新潟県十日町市、津南町）を舞台に、2000年から3年に一度開催されている人間の土地と美術の芸術祭。およそ110の集落に、国内外のアーティストが手がけた作品が、常設展示だけでも200点近く点在します。会期中は様々なアートプロジェクトが行われ、毎回来場数は増え続けています。美しい里山とアートが融合する新しい地域づくりの先行事例として注目を集めています。